

# 「地方議会評価モデル」導入による 取り組み経過と今後の取り組み

～「存在する議会」から  
「機能する議会」への質的転換に向けて～

2023（令和5）年4月26日（水）

飯田市議会

ダイジェスト版

# 飯田市議会における議会改革の歩み



# 新しく設定した「スローガン」

## 飯田市議会のスローガン

「暮らし豊かな いいだの未来を 市民とともに」  
～市民のしあわせに貢献する議会～

# 期待される役割「ミッション」と議会が実現すべき理想的な姿「ビジョン」

## ミッション

- 市民の代表機関として議決の権限を行使し、市民の意志が的確に反映されるように活動します
- 執行機関の活動を評価・監視することにより、適正な行政運営を確保します
- 市民の意志を基に、政策を立案・提言していきます
- 共にまちづくりを進めるため、議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営を行います

## ビジョン

- 市民との意見交換の場をもとに、行政評価からの決算と予算の連動及び政策提言などによる飯田市議会の政策サイクルがさらに充実しています
- 合議体である議会が一つになり、執行機関と対峙し、切磋琢磨することにより共働して地域経営を行っています
- さらなる議会力の向上を目指し、議員一人ひとりの力量を高め、研鑽をしています
- 会議及び委員会等を公開し、議会活動について説明することにより、市民との情報共有を図り、市民に身近な議会になっています

# 「議長レポート」と「地方議会評価モデル導入 キック・オフ講演会」

## 「議長レポート」

- 市民の福祉向上に資する市議会であるか（議会は自分（住民）たちのもの）
- チーム飯田市議会（議員の連合体と議会事務局）が地域経営に責任を持つ
- 過去を振り返り、これからの10年を見据え前に進む議会
- 議会改革・運営ビジョンの課題解決の為に「身体検査・自己評価」

地方議会  
評価モデルの導入

## 江藤先生によるキック・オフ講演会



江藤俊昭 座長

- 何故今、地方議会評価モデルが必要か
- 地域経営全体に議会が関わり、議会が決める
- 機関として政策サイクルを回している議会が作動しているか
- 良き政策提言ができるためには、良き組織でなければならない
- 議会を議事機関として捉え、議会運営（マネジメント）の包括的な能力を評価する

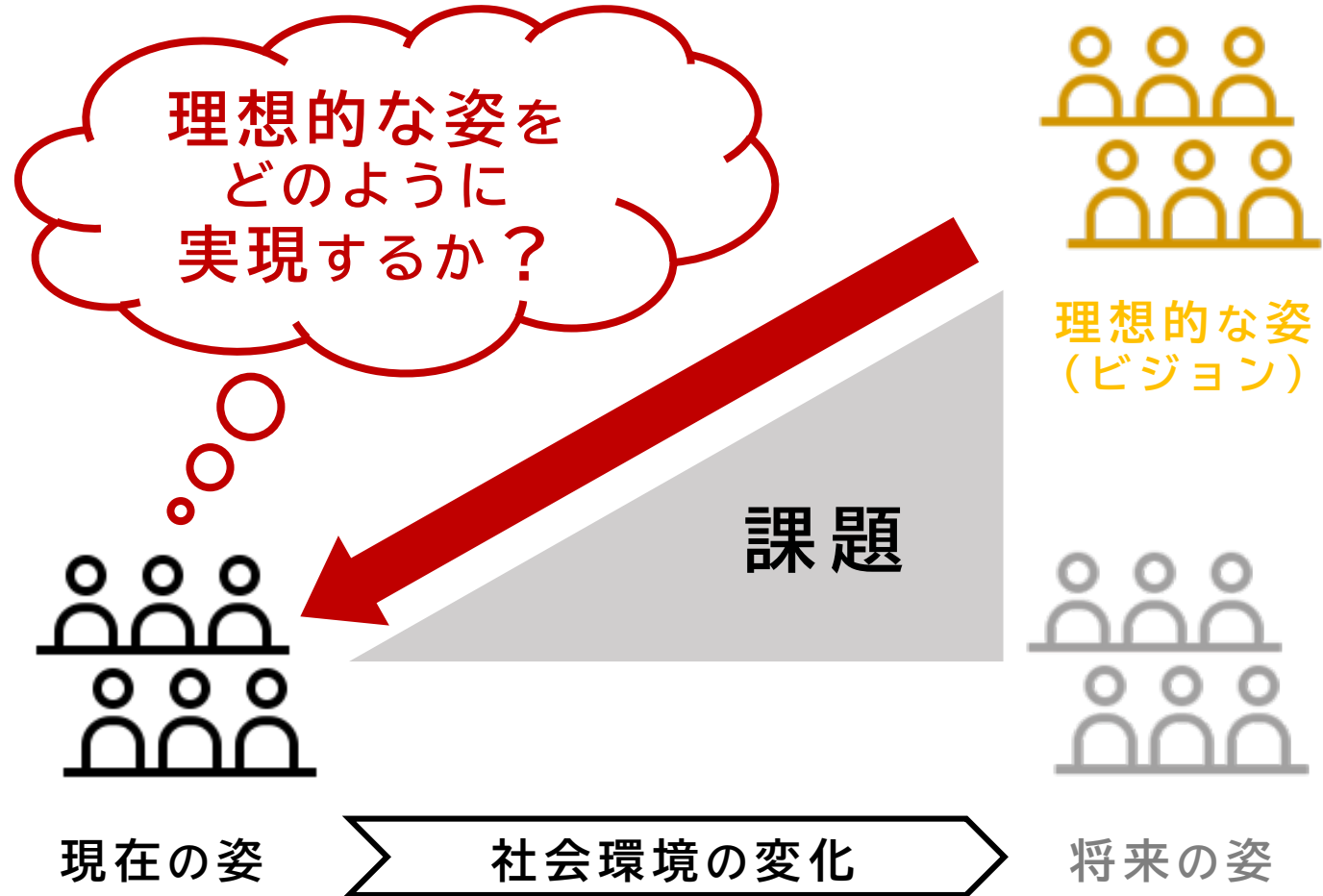
我々は、今どこにいるのか  
ここからどこに行きたいのか  
どうやってそこに行きたいのか  
我々は、地図を持っているのか  
劇中の架空の政治家の言葉/イギリス

## 住民福祉の向上に向けて ～飯田市議会の議会改革「第3ステージ」の始まり～

- ① 飯田市議会の理想的な姿を考える
- ② 個人で現状を評価する
- ③ 課題解決のための取組をグループごとに明確化する
- ④ 評価を議員全員で共有する

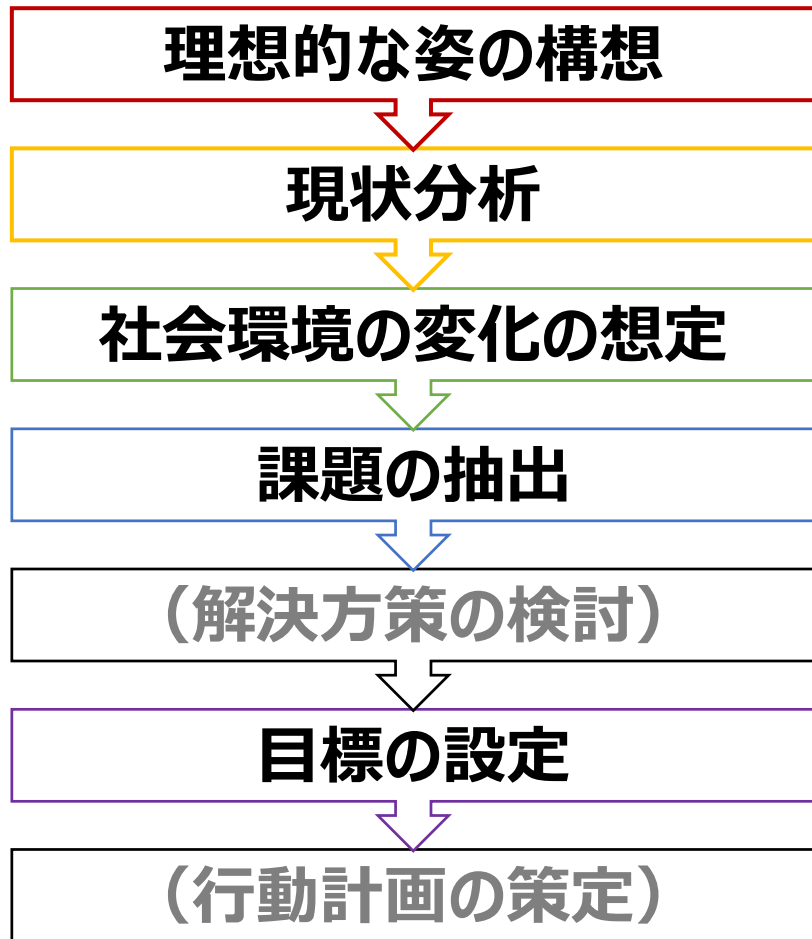
# 飯田市議会が「地方議会評価モデル」を通じて目指すこと

- 将来の「理想的な姿」の実現に向けて、これから「取り組むべきこと」を考える。



# 「自らの議会がどのような議会か」共通認識を得る ※結果は別紙

➤「理想的な姿」(ビジョン) から逆算して、今後の行動 (アクション) を1枚のシートで考える。



議会プロフィール		議会		本シートは、議会が実現したい理想的な姿(ビジョン)と、それを実現するための方策を整理するために使用します。議会に求められる役割(ミッション)を踏まえて、実現すべき理想的な姿(ビジョン)に近づくために、活動目標(アクション)を明確化しましょう。	
【基本データ】					
任期	定数	議員数	投票率	議員報酬(一名・月額)	政務活動費(一名・月額)
事務局職員数	議会費(年間)	予算規模	請願・陳情数	政策連携など	議長任期
自治体職員数	合併履歴		総合計画の位置づけと対象期間		
1. 議会に期待される役割(ミッション) 地域経済(まちづくり)において、私たち議会に期待されている役割(ミッション)は、下記の通りです。			2. 議会が実現すべき理想的な姿(ビジョン) 議会が実現すべき理想的な姿(ビジョン)は、下記の通りです。		
<b>議会プロフィール1.2 理想的な姿の構想【ミッションとビジョン】</b>					
3. 現在の姿 私たちの議会がこれまでにつくりあげた「仕組み」や「制度」、「取組み」や「運用」の工夫は、下記の通りです。			4. 今後の議会を取り巻く社会環境の変化 議会のあり方に大きな影響を及ぼす可能性が高い地域や社会環境の変化は、下記の通りです。		
(1) 民意の吸収や政策ニーズの情報収集 (対応済み) <b>議会プロフィール3</b> (2) 行政執行の監視や政策の評価・検証 (対応済み)			(1) 世界やわが国の変化 <b>議会プロフィール4</b> <b>社会環境の変化の想定</b> (2) 地域や住民ニーズの変化		
(3) 議会独自の視点での政策の調査・立案 <b>現状分析</b> (4) 力を入れて取り組んでいること (対応済み)			5. これから取り組むべき課題 理想的な姿(ビジョン)を実現する上での課題は、下記の通りです。 <b>議会プロフィール5</b> <b>課題の抽出</b>		
			6. 通任期(4年間)の活動目標・アクション 具体的に取り組む活動目標・アクションは、下記の通りです。 <b>議会プロフィール6</b> <b>目標の設定</b>		



## 機関としての議会を包括的に評価する

➤ 組織体のマネジメントの視点（16項目）で現状分析を行うことで、議会運営の改善を促す。

住民福祉の向上



価値創造

視点1  
戦略プラン

視点3  
条件  
整備

視点2  
政策  
サイクル

視点4  
信頼と  
責任

視点5  
振り返りと学び

### 視点1. 戦略プラン

理想的な姿の実現に向けた戦略づくりと、その実行のあり方【3項目】

### 視点2. 政策サイクル

住民福祉の向上という価値を創造する議会活動のしくみと、住民とのかかわりのあり方【4項目】

### 視点3. 条件整備

議員や議会事務局が最大限に能力を発揮するための基盤づくりのあり方【3項目】

### 視点4. 信頼と責任

社会的責任や、議決に対する説明責任のあり方【4項目】




### 視点5. 振り返りと学び

活動の振り返りや、気づきからの学びのあり方【2項目】

# 項目ごとの個人による評価を議員全員で共有する ※結果は別紙

- 「認識」「方法」「結果」の観点を意識しながら、まずは個人で現状を評価する。
- 評価結果から、課題解決のための取組をグループごとに明確化する。

**飯田市版**

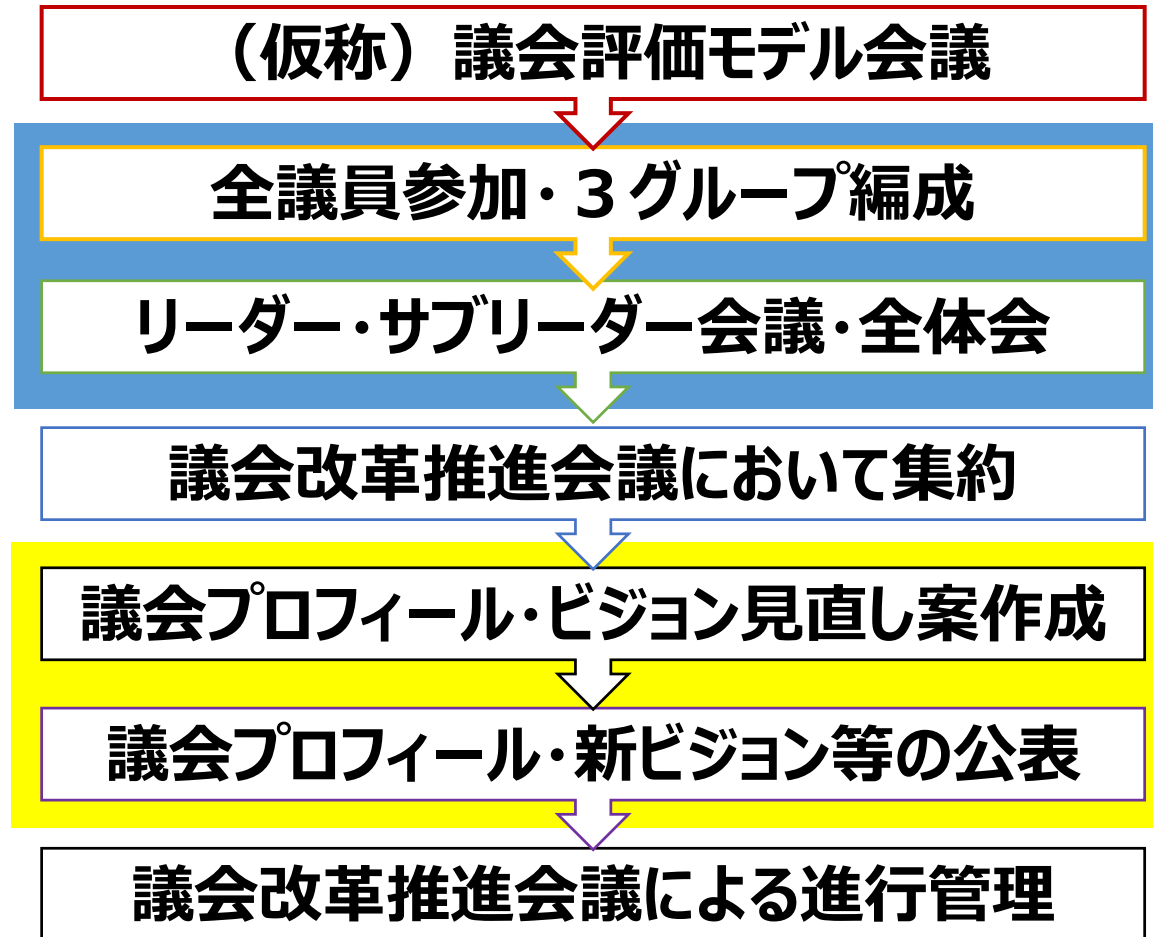
	<b>① 認識</b>	考え方が全体で共有できているか
	<b>② 方法</b>	継続性を持った取り組みとなっているか
	<b>③ 結果</b>	結果が生まれているか

<p><b>視点1 戦略プラン</b> ①【理想的な姿の構想】</p> <p>議会に期待される役割を踏まえた上で、めざすべき理想的な姿を構想していますか。</p>	◎	社会の変化に応じて議会の理想的な姿を追求し続けるしくみがあり、また、議会が目指している姿が、議会全体に浸透している。
	○	議会の理想的な姿が明文化されているが、議会内に理解が浸透していない。
	▲	議会の理想的な姿を模索している。

- 「なぜ」そのような状態にあると言えるのかを、3つ（認識・方法・結果）の観点で検討
- 「理想的な姿」を実現するための具体策（活動・目標・計画）に落とし込む

# 自治基本条例検証会議で培った全議員参加型の場づくり

## 体制づくりと進め方



# 地方議会評価モデルの取組体制

## (主管) 議会改革推進会議

### 【役割・機能】

- 地方議会評価モデルの進行管理
- 議会内外への情報発信
- 研究会の「実装の場」としての課題等の取りまとめ

### 【担当】

◎委員長 古川 仁  
○副委員長 永井 一英  
事務局 和泉 忠志  
丸山 宏

## (運営) 運営プロジェクト

### 【役割・機能】

- 地方議会評価モデルの企画運営
- リーダー・サブリーダー会議の運営管理
- 日本生産性本部との連絡・連携

### 【担当】

★アドバイザー 井坪 隆  
◎チーフ 古川 仁  
○統括 (PJマネージャー) 永井 一英  
事務局 和泉 忠志  
丸山 宏

## リーダー・サブリーダー会議

### 【役割・機能】

- グループ討議の進行役と意見集約／事務局との事前打ち合わせ
- 「議会プロフィール素案」の取りまとめと素案の一本化
- グループ討議における進行管理
- グループ間の情報共有とスケジュール調整など

### 【担当】

#### A班

◎リーダー  
小林 真一  
○サブリーダー  
市瀬 芳明  
事務局  
近藤 善彦

#### B班

◎リーダー  
清水 優一郎  
○サブリーダー  
佐々木 博子  
事務局  
熊谷 和泉

#### C班

◎リーダー  
岡田 倫英  
○サブリーダー  
下平 恒男  
事務局  
丸山 宏

# リーダー・サブリーダー会議と全体スケジュール

## 「リーダー・サブリーダー会議」の特徴

- リーダー（2期目）とサブリーダー（1期目）は、会派の枠を越えて構成
- 円滑に運営していくための申し合わせ事項を確認。意見集約のため必要に応じて会議を開催
- グループ討議においては、議員同士の「対話」を重視。各メンバーが発言しやすい雰囲気配慮

## 全体スケジュール・取り組み手順



- 日本生産性本部によるオリエンテーション(議会プロフィールの作成と成熟度評価)の実施
- 議員個人による評価→グループ討議・集約→リーダーサブリーダー会議における検討→グループ討議→リーダーサブリーダー会議再検討・まとめ→全体会において全議員で共有
- 専門的知見の活用（大正大学江藤教授・日本生産性本部によるアドバイス）
- 議会プロフィールの作成→成熟度評価→議会プロフィールへの反映
- 進行管理の主体の明確化、議会プロフィールと「新・議会改革運営ビジョン」の策定と公表
- 市民に対する広報

# 取組の経過とリーダー・サブリーダー会議

## 取組の経過

### ① 議会プロフィール【4月～10月】

・グループごとオリエンテーション→議員個人による「議会プロフィール」の作成→グループ討議・集約→リーダーサブリーダー会議における市議会としての「議会プロフィール1～5」及びスローガンの検討→グループ討議→リーダーサブリーダー会議における集約→議会報告・意見交換会における取組状況の説明

### ② 成熟度評価と議会プロフィールのまとめ【11月～2月】

・グループごとオリエンテーション →議員個人による「成熟度評価」→グループ討議・集約 →市議会としての成熟度評価のまとめ →リーダーサブリーダー会議における「議会プロフィール1～5と成熟度評価のまとめ」 →「全体会」での意見聴取→江藤教授によるアドバイス→リーダーサブリーダー会議で最終確認

### ③ 報告書の作成【3月～4月】

・取り組み経過、検討の結果と得られた成果と課題

・今後の取り組むべき課題（議会プロフィール5）までは完了。課題を解決するための通任期（6年間）における活動目標（議会プロフィール6）の明確化はこれから。進行管理のあり方を検討中。





**【リーダー・サブリーダー会議(日本生産性本部 野沢さん、鎌田さん同席)】**

# 地方議会評価モデルによる「議会活動のふり返し」

地方議会評価  
モデル報告書

議会プロフィール、新・議会改革運営ビジョンの進行管理

2年目

2022年

申し送り

3年目

2023年  
任期折  
り返し

議会プロフィールの  
公表  
新・議会改革運営  
ビジョンの公表

4年目

2024年

申し送り

1年目

2025年  
改選

2年目

2026年

評価

3年目

2027年  
任期折  
り返し

評価

4年目

2028年

申し送り

1年目

2029年  
改選

議会プロフィール(更新)



# 地方議会評価モデルによる議会のバージョンアップ・サイクルを実現

## 1. 議会プロフィールで現在の議会の状況の見える化

- ・基本データ
- ・議会に期待される役割
- ・実現すべき理想的な姿
- ・現在の姿
- ・社会環境の変化
- ・取り組むべき課題
- ・通任期の活動目標

目指す理想的な姿は？

現状をどう捉えているか？

自治基本条例に基づいた議会の役割は果たしているか？

## 2. 議会運営の見直しと実践

- 組織経営的な5つの視点【16項目】
- ①戦略プラン
  - ②政策サイクル
  - ③条件整備
  - ④信頼と責任
  - ⑤ふり返りと学び

## 3. モデルによる診断 成熟度による議会の評価

### 【成熟度の評価】

- ・下記の視点で◎○▲の3段階評価
- ①認識や前提とする考え方が共有できているか【認識】
- ②仕組みや制度は継続性を持った取り組みとなっているか【方法】
- ③結果が生まれているか【結果】

## 4. 議会改革の進展と実践

議会プロフィールの更新

再診断

通任期の活動目標を議会で共有して行動

課題克服による住民福祉の向上へのつながり

新・議会改革運営ビジョンのアップデート

評価に基づく課題の明確化

進行管理の主体の明確化